

平成22年度研究科横断型教育プログラム（Bタイプ）授業科目

担当部局名	農学研究科			授業の場所	農学部 W106			
授業科目名	有機農業の科学的検証			講義担当者 所属・氏名	農学研究科 間藤 徹			
対象	修士 博士後期 専門職	コマ数	2コマ	開講 日時	6月25日 16時30分～20時		授業形態	講義
〔授業の概要・目的〕								
<p>【研究科横断型教育の概要・目的】 有機はヒトと自然に優しい、遺伝子組み換えは危険、現代人の有機農産物、有機農業を求めるココロはなんなのだろう？</p> <p>安全な食料を得るために有機農業が必要なのだろうか？化学肥料と農薬を使うと安全な食料は得られないのだろうか？話はまずこのあたりからスタートし、植物は何を栄養としているのか？消費者から見た有機農業、生産者から見た有機農業、そして今後、化石エネルギー節約に向かう中での食料生産のあり方、エネルギー供給が逼迫する中で人は食料との関わり合いをどのように持てばよいのか？について話を進める。人と食料と環境の関連について、肥料をキーワードにして話したい。</p>								
〔授業計画と内容〕								
<p>第1回 6月25日 16時30分～18時 有機農業の実際 植物は有機栽培を喜んでくいるか？有機農業は環境にやさしいか？</p> <p>第2回 6月25日 18時15分～19時45分 脱石油時代の農業のあるべき姿 環境保全と必要食料生産量を満たすことに寄与する有機農業を確立するために</p> <p>どちらも事例を紹介しながら、受講生との対話をもとに講義を進めるつもりです</p>								
〔履修要件〕								
・各回でテーマが異なるため、コマ単位で受講してもよいこととする。								
〔成績評価の方法・基準〕								
・2単位相当の受講証明書を必要とする場合で、当科目で課題のレポートを作成する場合は、1科目（複数コマ全体）についてのレポートを提出させ、評価する。								
〔教科書〕								
なし（適宜プリントを配付）								
〔参考書等〕								
特になし なにか有機農業関連の本を読んで来ていただくと話が分かりやすいかもしれない								
〔その他〕								
受講生人数の制限はしない								